



2019.3.20 千葉地本主催

南相馬市立小学校の卒業生へ ガーベラの花を届けてきました！



3月20日、福島県南相馬市の小学校卒業生にガーベラの花を届ける取り組みを、11日の中学校に続き行いました。南相馬市は地震の被害に加えて津波、原発事故の影響があった地域です。昨年はまだプレハブの校舎がいくつかありましたが、今年はほぼ全ての学校で耐震工事が終了し、生徒たちは丈夫で真新しい校舎で学んでいました。しかし、ある学校の校長先生から、「ハード面では着々と『復興』していますが、ソフト面ではまだまだ『復興』は遠い」、「震災から8年経つが、8年長かったのかすぐだったのか今はわからない」、「皆さんは何を持って復興といいますか」など現地に行かなければ学べない現実がありました。また「決してこの震災の事実を忘れないで下さい。忘れられた時が一番怖い」、「地震被害だけならまだしも原発事故が長引かせている」との思いも語っていただきました。参加した組合員からは「校長先生の熱い思いが伝わった」、「参加してよかった」との声が聴けました。今後も被災地の子供たちの心の復興のためにこれからもヒューマニズムの取り組みを行っていきたいと思います。

ヒューマニズムが活動の原点！
心を豊かにしてこの今を仲間と乗り越えよう